

学則の変更の趣旨等を記載した書類 目次

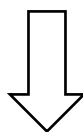
ア．学則変更（収容定員変更）の内容	P. 2
イ．学則変更（収容定員変更）の必要性	P. 2
ウ．学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	P. 3

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

令和 5（2023）年度から、法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程の入学定員及び収容定員を以下のとおり変更する。

現行（令和 4（2022）年度 学則）		
研究科専攻名	入学定員	収容定員
人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程	2	6



（令和 5（2023）年度 学則）		
研究科専攻名	入学定員	収容定員
人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程	3	9

イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

昭和 30（1955）年 4 月の設置から 65 年を超える歴史を有する、本学大学院人文科学研究科日本文学専攻（博士後期課程）は、わが国の高等教育を支える多くの大学教員をはじめ、これまで有為な人材として博士の学位を 56 名に授与してきた。開設以来、入学定員 2 名、収容定員 6 名の定員規模で、大学教員をはじめとした研究者や高度な専門的業務に従事する人材を養成してきたが、ここ数年は、《資料 1》のとおり、慢性的な収容定員超過の状態が続いている。

この背景には、昼夜開講制や長期履修制度の導入をはじめとした、社会人のニーズに対応したカリキュラムや制度の諸改革に加え、日本研究に特化した専攻横断的なカリキュラム国際日本学インスティテュートによる学生受け入れを図ってきたことなどが考えられる。特に、国際日本学インスティテュートでは、中国の 5 大学（四川外国語大学、重慶師範大学、西南民族大学、福州大学、福建師範大学）との協定に基づく特別入試を実施している他、従来の分野におさまりきらないテーマや広い視野で日本を研究したいと考えている学生や社会人、外国人留学生など多様な学生を受け入れてきている。さらに、令和 4（2022）年度からは、わが国を代表する能楽の総合研究機関である「野上記念法政大学能楽研究所」と連携し、博士後期課程に「能楽資料特別研究」等 4 科目を開設し、重要文化財を含む全国屈指の収蔵量を誇る同研究所の能楽関係資料について研究を深める科目を設け、能楽の発展と振興にも寄与している。また、修業年限を超えて在籍する学生が一定数存在することも収容定員超過の要因となっているが、課程制大学院の本来の趣旨に則り、定められた修業年限で学位取得が可能となるよう、これまで以上に学生の意識改革を伴う研究指導を徹底していく。

本専攻は、引き続き、日本文学をより広い視野の中で捉えることができる専門知識と研究課題発見及び探求の能力を育成するとともに、国語教育などの科目を設置し研究のみならず教育分野においても高度な専門知識を涵養していく。これにより古代から現代までの文学・芸能および日本語

学に関する高度で専門的な知識を習得することを通して、専門領域における諸文献を正確かつ批判的に読解・分析する能力を持つ人材の育成に努めていく。今後、多様化する学生のニーズに対応し、自立する研究者、高度な専門的な業務に従事する専門家を養成し得る機関として、その使命を果たしていくため、上記のとおり入学定員及び収容定員を変更する。

《資料1》人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程における定員充足の状況（平成29（2017）年度～令和4（2022）年度）

ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

教育課程、教育方法、履修指導方法、教員組織、大学全体の施設・設備については、いずれも変更はない。

本専攻は、《資料2》の教育課程等の概要に示すとおり、古代から現代まで、各時代の文学、言語、芸能に関する科目を中心に、文芸批評、中国文学、沖縄文学、国語教育等の関連科目を幅広く配置し、広い視野を持って自己の専門を深められるカリキュラムを用意している。これらを、専任教員17人（教授15人、准教授2人）が、それぞれの研究テーマに応じて担当しており、このうち17人が研究指導教員として既に博士後期課程において研究指導を行っている。

「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成11年文部省告示第175条）」においては、本専攻に関する文学関係（国文学専攻）は研究指導教員を3人、また、原則として研究指導教員と研究指導補助教員を合わせて5人以上を置くこととされているが、収容定員変更後も、この研究指導教員の必要数の3倍を超える教員を配置することとしている。引き続き多様化するニーズに対応して、より充実した研究指導体制を整えてゆく。

定員増加分の学生のための自習室・専攻室等については、大学院棟内にある施設・設備を他の学生と同様の条件・環境で利用できるようにする。現在利用していない又は利用環境に余裕がある既設の施設・設備を利用するため、定員増加によって環境が低下することはない。

《資料2》人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程 教育課程等の概要

以上

学則の変更の趣旨等を記載した書類

資料目次

- 資料 1 人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程における定員充足の状況（平成 29（2017）年度～令和 4（2022）年度）
- 資料 2 人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程 教育課程等の概要

《資料1》人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程における定員充足の状況
(平成29(2017)年度～令和4(2022)年度)

	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
志願者数	6	1	10	7	4	4
入学者数	4	1	7	2	3	2
入学定員	2	2	2	2	2	2
志願倍率	3.00	0.50	5.00	3.50	2.00	2.00
入学定員充足率	2.00	0.50	3.50	1.00	1.50	1.00
在籍者数	32	28	30.25	28.25	24.75	20.75
収容定員	6	6	6	6	6	6
収容定員充足率	5.33	4.67	5.04	4.71	4.13	3.46

※令和元(2019)年度以降、長期履修制度の導入に伴い、長期履修学生の在学者数を、その実際の人数に、修業年限を当該学生が計画的に教育課程を履修することを認められた一定の期間で除して得た数を乗じて算出された数に置き換えて、収容定員充足率を算出した。

在籍者数のうち、長期履修学生の状況(令和元(2019)年度～令和4(2022)年度)
(令和元(2019)年度より、長期履修制度を導入)

	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
長期履修(4年)	1	1	1	1
長期履修(6年)	1	1	2	2
長期履修学生数(合計)	2	2	3	3

《資料2》人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程 教育課程等の概要

教 育 課 程 等 の 概 要														
(人文科学研究科日本文学専攻博士後期課程)														
科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
－	日本文学特殊演習 A	1～3前後	2						15	2				
	日本文学特殊演習 B	1～3前後	2						15	2				
	日本文芸学特殊研究 A	1～3前後		2										
	日本文芸学特殊研究 B	1～3前後		2										
	日本文芸批評史特殊研究 A	1～3前後		2					1					
	日本文芸批評史特殊研究 B	1～3前後		2					1					
	日本古代文芸特殊研究 A	1～3前後		2					1					
	日本古代文芸特殊研究 B	1～3前後		2					1					
	日本中世文芸特殊研究 A	1～3前後		2					1					
	日本中世文芸特殊研究 B	1～3前後		2					1					
	日本近世文芸特殊研究 A	1～3前後		2					1					
	日本近世文芸特殊研究 B	1～3前後		2					1					
	日本近代文芸特殊研究 A	1～3前後		2					1					
	日本近代文芸特殊研究 B	1～3前後		2					1					
	日本言語学特殊研究 A	1～3前後		2					1					
	日本言語学特殊研究 B	1～3前後		2					1					
	能楽作品特殊研究 A	1～3前後		2					1					
	能楽作品特殊研究 B	1～3前後		2					1					
	能楽資料特殊研究 A	1～3前後		2					1					
	能楽資料特殊研究 B	1～3前後		2					1					
	小計（20科目）	－	4	36	0	－			15	2	0	0	0	
学位又は称号		博士（文学）			学位又は学術の分野				文学関係					
修了要件及び履修方法								授業期間等						
3年以上在学し、指導教員の指導により各専攻に示された授業科目を履修の上、以下に定める単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。 ・人文科学研究科においては20単位以上 ・指導教員が担当する「日本文学特殊演習A・B」で修了所要単位を満たすこと。（修了所要単位に含めることができるのは12単位まで）								1学年の学修区分				2期		
								1学期の授業時間				14週		
								1時限の授業時間				100分		